

合評会

『脳科学時代の倫理と社会』

2010年3月14日(日) 13:00-19:00

東京大学駒場キャンパス 18号館 4階 コラボレーションルーム 3

総合司会: 信原幸弘 (UTCP)

13:00-15:00 第一部 (発表各20分、討議40分)

司会: 村田純一 (UTCP)

戸田聡一郎 (山梨大学大学院医学工学総合教育部)

人格の要件はカタログ化できるか——不気味の谷とパーソンネットワークの可能性

中澤栄輔 (UTCP)

記憶の操作と〈ほんもの〉という理想

西堤優 (東京大学大学院総合文化研究科)

二つの行為形成システムにおける自己制御の喪失

吉田敬 (UTCP)

病的賭博への神経経済学的アプローチ

15:20-17:20 第二部 (発表各20分、討議40分)

司会: 石原孝二 (UTCP)

伊吹友秀 (東京大学大学院医学系研究科)

ニューロエンハンスメントが医療として行われることの倫理的問題——医療化の問題を中心として

小口峰樹 (東京大学大学院総合文化研究科)

ニューロマーケティングに関する倫理的考察——疑似科学化と消費者の自律性

筒井晴香 (東京大学大学院総合文化研究科)

通俗的「男脳・女脳」言説がはらむ問題——性差をめぐる脳科学と社会の中の性別

関谷翔 (東京大学大学院総合文化研究科)

認知科学・脳神経科学がリスク論に与えるインパクト——個人的選択から社会的論争への変換

17:40-18:40 第三部 (発表各20分、討議20分)

司会: 信原幸弘 (UTCP)

中尾麻伊香・住田朋久 (東京大学大学院総合文化研究科)

近代日本の脳病薬広告にみる脳

水島希 (東京大学情報学環)

脳神経倫理的議論は、いつ行うべきか——技術の開発段階を考慮に入れた技術アプローチによる検討

☆使用言語: 日本語

☆入場無料, 事前登録不要

東京大学グローバル COE 「共生のための国際哲学教育研究センター」(UTCP)

<http://utcp.c.u-tokyo.ac.jp/>